

消化器・総合外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。手術前の説明時に、切除標本の医学研究への使用にご協力を同意していただきました内容に則して適正に実施致します。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] ヒト食道癌における E3 ユビキチンリガーゼ発現の臨床病理学的意義解明

[研究機関] 奈良県立医科大学附属病院 消化器・総合外科

[研究承認] 本学医の倫理審査委員会での審査を経て学長より許可されました。

[研究実施期間] 2018年9月から2022年12月までを予定しております。

[研究代表者] 中出 裕士（消化器・総合外科）

[利益相反] 本研究に携わるすべての研究者はいかなる利益相反も有していません。

[研究の目的] 食道がんにおける E3 ユビキチンリガーゼの発現状況が患者さんの術後予後と関係があるか、また、食道がんの増殖、進展と関連があるかを検討するのが目的です。

[研究の意義] 食道がんにおいて、E3 ユビキチンリガーゼが癌の増殖、浸潤、転移にどのような役割を果たしているのか、臨床応用を視野に含めた基礎的研究を行います。本研究がさらに進めば、がんの進展機序が明らかになるだけでなく、新たながん治療法の開発につながるものと考えられます。

[研究の方法] 当院病理部で保管されている手術標本検体より作成された様々な病理組織プレパラートを中心に、がんの状態や予後と E3 ユビキチンリガーゼ発現との関連を解析します。

●対象となる患者さん

1995年1月より2011年12月までの間に当院で食道がんに対して手術を受けられた方。

●利用する情報

当院最終受診日までの以下の診療情報を診療録から収集いたします。

- 患者情報：性別、手術時年齢、生存情報
- 腫瘍情報：最終診断、病理診断結果
- 手術時の切除標本：パラフィン包埋標本、凍結保存標本から得られるE3ユビキチンリガーゼの発現状況
- 治療歴情報：術前治療歴、術前後のCT、血液検査結果、術後再発年月日、再発形式

[個人情報の取り扱い]

カルテから、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報を削除した上で、上述の情報のみを残したデータを用いて解析します。

[患者様の負担や利益] 本研究による患者様の負担や利益は生じません。

*上記の研究にカルテ情報等を利用することをご了解いただけない場合や、研究に関する資料閲覧の希望などの問い合わせがありましたら、下記にご連絡ください。なお、ご了承いただけない場合に何らかの不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

奈良県橿原市四条町 840

奈良県立医科大学附属病院 消化器・総合外科 担当医師 中出 裕士

電話 0744-22-3051 FAX: 0744-24-6866 e-mail: surg-1@naramed-u.ac.jp

[ホームページ] www.naramed-u.ac.jp/~1sur/